

7月12日(日) 15:00~開催!

南国港町おばちゃん信金

—『支援』って何?“おまけ組”共生コミュニティの創り方—
(新評論) 刊行記念

原 康子さん&國吉 宏昭さん トークイベント

「インドの港町で発見!こんなところに日本のおばちゃん~「勝ち組」でも「負け組」でもない「おまけ組」共生コミュニティって? ~猛スピードで新興国へと成長したインド。いまだ「成長神話」に取りつかれている日本。国境を越えた競争社会の中では超が付くほどの「負け組」とされるスラムのおばちゃんたちが、ぜんぜん別の社会モデル、「おばちゃん信用金庫」という共生コミュニティを作り出した...そんな活動があります。

港町で信金を立ち上げ、共生コミュニティを創り出そうと、明るくしたたかに奮闘する南インドのおばちゃんたち。そのおばちゃんたちに時には大笑いさせられ、時には泣かされ、時には激怒させられつつ、とうとう「援助しない技術」を身につけたプロジェクトマネージャー原康子。

おばちゃんたちに七転八倒させられた経験を包み隠さずお話しすることで、スマートな国際協力ストーリーとは一味違う、インドと日本の往復運動を感じていただくイベントです。

場所 ジュンク堂書店那覇店「地下1階イベント会場」

日時 2015年7月12日(日)15:00

出演者プロフィール

話し手 原 康子 (はら・やすこ)

国際協力コンサルタント、コミュニティ開発専門家。

ウサンクサイ肩書きだが、もし「コミュニティ開発検定試験」なるものがあつたなら、実技はともかく、筆記で落ちるタイプ。途上国の農村や都市のスラムのおばちゃんたちと、自信や自尊心を高め合い、共生のコミュニティを創る「お節介」が仕事、という看板は掲げているが、現在、開店休業中。昨秋の出版を機に、仕事も入り、2作目の「“おばちゃん本”も出版できるかも?」との期待が高まる一方、出版した本の内容のせいで、休業期間延長のおそれも十分にあり得る、と本人は考えている。
亥歳、岐阜県出身、ネパール在住。

聞き手 國吉 宏昭 (くによし・ひろあき)

NPO 法人沖縄 NGO センター 理事

「何か面白いことないかな〜」が口癖の少年の心を持ち続けている66歳。20代前半には沖縄の民芸陶器やちむん(お土産品店)を始めながら不動産業を営み、30代前半では青年会議所に所属。40代ではボランティア活動にも力を入れ、沖縄ベトナム友好協会に所属。沖縄NGOセンターの前身である沖縄NGO協議会事務局長も務める。2000年にはNGO前島アートセンターを立ち上げ、アートによる町づくりに10年間取り組んだ。50代ではNGO沖縄県立美術館支援会happを設立。60代ではNPO法人沖縄ある記を設立。中には始めたものの、解散したのも多少アリ...

と、見るからに経験豊富なのは、“夢”を持つことを忘れていないから。面白いことがあればどこにでも駆けつける!がモットーの自称“ボランティアおじさん”。沖縄県出身、沖縄県在住。

©田中由郎



(株)新評論

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-16-28
TEL03-3202-7391 / FAX03-3202-5832

入場無料・予約不要です。

書籍の販売、および終了後にミニサイン会も開催致します。
この機会に是非ご購入ください。